

～ 豊かな学びの実現 ～

地域防災における東予高校との連携 防災ベンチ製作を通じた職業・学科横断的学習

東予高校機械科との協働した学び。両校の学びを共有し、より深い学びにつながりました。

地域防災 学校垣根越え

西条の丹原・東予高生

こころ付きベンチ 初の共同製作

西条市の丹原高校と東予高校の生徒が、防災をテーマにした共同の取り組みを進めている。両校の強みを生かした地域防災力の強化が狙いだが、2026年度に小松高校を含む3校の再編による新校開校も見据え、学校の垣根を越えた交流を目指している。

丹原高の3年生5人、東予高が3年前から取り組む防災ベンチの製作に参加している。東予高が3年前から取り組む防災ベンチの製作に参加している。東予高が3年前から取り組む防災ベンチの製作に参加している。東予高が3年前から取り組む防災ベンチの製作に参加している。



防災ベンチの部品製造を体験する丹原高生(左)とサポートする東予高生

「モデル地域研究事業」の拠点校になり、近隣の小中高校、地域住民と連携した避難訓練や避難所設営体験などを計画している。その一環で、生徒同士の交流を兼ねた防災ベンチの共同製作を始めた。今後は防災ベンチを完成させ、秋に実施する避難所設営体験に活用する。体験には東予高生も参加する予定。生徒も共同活動の利点を感じている。丹原高の曾我花梨さん(17)は「防災意識を持つようになった。他校生との協力から、いろんな視点や考え方を知ることができる」と語り、東予高3年の伊藤瑠稀さん(17)は「普段の作業を誰かに教えることは、自分のためにもなる。別の高校のみんなが工業に興味を持つ機会になれば」と話した。(高橋圭太)

学校防災教育実践モデル地域研究事業拠点校の指定を受けています。地域・小中高が連携し、地域防災の強化につなげます。